

「サステナブル居住研究センター 研究年報 2019」の発行について

令和 2 年 4 月 8 日
一般財団法人ベターリビング

一般財団法人ベターリビング サステナブル居住研究センターでは、当センターによる活動報告等を掲載した「サステナブル居住研究センター 研究年報 2019」を当財団ホームページに掲載しました。

本年報では、センター長の深尾精一首都大学東京名誉教授によるコラム「木材が主役の時代」、講演録「木材の多様な活用と可能性」をはじめとして、「住宅における良好な温熱環境の実現」に向けた取り組みや、住宅部品関係の自主研究や改正建築物省エネ法の施行に向けた動きの紹介等も掲載しております。

建築・住宅関係業界の皆様とサステナブル居住研究センターとのコミュニケーションツールとして、充実した内容となっておりますので、是非ご活用ください。



「サステナブル居住研究センター 研究年報 2019」

URL https://www.cbl.or.jp/slc/report/2019_all.pdf

「サステナブル居住研究センター 研究年報 2019」目次

☆はじめに：理事長 井上 俊之

★コラム「木材が主役の時代」：深尾 精一

☆サステナブル居住研究センターの調査研究について：加藤 正宜

☆講演録「木材の多様な活用と可能性～木造建築はサステイナブルか？～」深尾センター長 2019年講演より

1.<受託研究報告1>

(1)「住宅における良好な温熱環境実現推進フォーラム」について：原 啓介

(2)良好な温熱環境を備えた住宅の普及に向けた取り組み：甲野 祥子

★コラム「住宅の探し方、選び方」：柴田正美

2.<共同研究報告>

「住宅の良好な温熱環境の実現に資する住宅部品研究会」について：折田 信生

★コラム「浴湯及び浴室温度を過去に遡って考える」：村田 幸隆

3.<自主調査研究報告>

住宅部品ユニットの活動概要（自主研究）について：西本 賢二

★コラム「改正建築物省エネ法と完全施行に向けた課題」：齋藤 卓三

☆サステナブル居住研究センターメンバーリスト

問い合わせ 担当：サステナブル居住研究センター 折田・柴田
電話：03-5211-0585
Mail：slc@cbl.or.jp

一般財団法人
ベターリビング

〒102-0071 東京都千代田区富士見 2-7-2
より良き住まい より良き住環境 より良き建築 の実現